

校訓

謝 恩 勤 勉 向 上

教育目標

人間性豊かで心身ともにたくましい、実践力のある生徒の育成

スローガン 「ともに学び、ともに高める」

めざす  
生徒像

思いやりの心を持ち、仲間と支え合う生徒(謝恩)  
粘り強く取り組み、最後までやり遂げる生徒(勤勉)  
自ら課題を見つけ、主体的に解決しようとする生徒(向上)

めざす  
教職員像

生徒に寄り添い、積極的支援に努める教職員  
お互いに協力し、学び合う教職員  
生徒、保護者、地域に信頼される教職員

基本方針

**確かな学力の育成**

基礎・基本の定着と、主体的・対話的に学ぶ意欲・態度の育成  
個別の教育的ニーズに対応した特別支援教育の推進  
夢や希望の実現に向けて努力するキャリア教育の推進

**豊かな心とたくましい体の育成**

豊かな心を育む道徳教育の推進  
温かい人間関係を基盤とした生徒指導の推進  
主体性や自己有用感を育む行事・活動の充実  
ともに支え合い、認め合い、高め合う学校をつくる、人権教育の実践  
生活や学習の基盤となる読書活動の推進  
たくましい体を育てる健康教育、食育の推進  
危機予測・危機回避能力を育てる安全教育の充実

**教育指導体制の充実と教職員の資質向上**

保護者や地域に信頼される学校づくりの推進  
個々の生徒や保護者、事案に対応する教職員組織の和をもとにした取組の推進  
生徒、教職員がともに「学び合う」ための創造的な実践と育成の推進  
効果的で継続可能な小中連携の推進  
働き方改革についての意識の高揚と、業務改善の推進

具 体 的  
な 取 組

**確かな学力を育成するために**

・課題設定・生徒の活動・振り返り等の過程を明確にした、分かりやすい授業を展開する。

- ・主体的・対話的な学びを定着させるため、「ほっとトーク」や授業での対話活動の充実を図る。
- ・個に応じた指導の強化に努めるため、少人数指導や T・T を実施する。
- ・学習意欲の向上と学習習慣の定着を図るため、家庭への啓発を強化する。
- ・各学年の実態に合わせたマイスタディを定期的実施する。
- ・特別支援教育の視点に立ったユニバーサルデザインの授業を実践する。
- ・全教職員で特別支援教育を推進するため、定期的な情報交換や専門研修を実施する。
- ・ICT機器の有効活用を推進するため、情報交換や専門研修を通して、活用方法を探る。
- ・夢や希望の実現に必要な能力・態度を育てる指導を組織的、系統的に行う。
- ・望ましい勤労観・職業観を形成するため、「キャリア・パスポート」の活用や「職場体験学習」、「ふるさと学習」の充実を図る。

### 豊かな心とたくましい体を育成するために

- ・道徳の教科化を踏まえ、授業の充実を図るため、指導の内容や方法、評価の研究を推進する。
- ・情報モラルや情報に対する責任に関わる指導を計画的に実施する。
- ・家庭と連携した「道徳の日」の充実を図るため、「サンキューカード」や各種便りを活用する。
- ・3種類のスマイルあいさつ運動（「クラス単位」、「出張」、「PTA 連携」）を展開する。
- ・生徒、保護者、教職員が協力して取り組む奉仕活動（ぴかぴかデー）を実施する。
- ・生徒理解や指導方法等について共通の認識を持つため、生徒指導委員会の一層の充実を図る。
- ・いじめ、不登校を生まない、支え合える仲間づくり、温かい学級づくりを推進する。
- ・適切で時機を失さない支援のため、教育相談週間を学期ごとに設定し、有効に活用する。
- ・主体性育成のため、体育祭や学習発表会等の企画・運営を生徒が中心となって行う。
- ・自尊感情・自己有用感を高めるため、生徒の活動や活躍の場面を増やし、評価を実施する。
- ・「強めよう絆」月間を中心に、なかまづくりや自己実現を図る取組を実施する。
- ・朝読書の実施や授業等での図書室活用を通して、読書活動の推進を図る。（寛学の実施）
- ・基本的な生活習慣や生活リズムの確立をめざした健康教育の充実を図る。
- ・望ましい食習慣の形成をめざす食育を推進する。（マイランチの実施）
- ・体力・技能の向上、忍耐力の育成を図るため、部活動への積極的な参加を促す。
- ・安全な行動の日常化をめざす交通安全教室、避難訓練、防犯教室等を実施する。

### 教育指導体制充実と教職員の資質向上のために

- ・活力ある学校づくりのため、実効性のある学校評価の実施と公開を実施する。
- ・魅力ある学校づくりのため、高松型学校運営協議会を活用し、外部評価を実施する。
- ・ホームページや各種たより、メール連絡網を目的に応じて活用し、積極的に情報発信する。
- ・地域行事やボランティア活動等へ生徒や教職員が積極的に参加して地域との連携を図る。
- ・四人研大会発表の経験をもとに、全教職員が人権感覚を磨き、専門性を高める。
- ・授業力の向上をめざし、全教員が公開授業を行う。
- ・教職員の資質向上をめざし、自己目標の設定や目標面談を実施する。
- ・若年教員の技能を高めるため、管理職等やベテラン教員が講師となり若年研修を実施する。
- ・仕事の軽重を見極め、勤務時間を意識した働き方改革を推進する。
- ・小学校と「学力向上」「豊かな心」「特別支援教育」「人権・同和教育」部会で連携を進める。